

草花のしおり

場所	団体：クラフト室 実習室 家族：サービスセンター前		
時間	1時間～1時間30分		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	各部屋 席数 48
準備物	【利用者】 しおりに入れたい草花等、ぞうきん、軍手 活動に適した服装、救急用品 【自然の家】 材料（ラミネートシート、千代紙、リボン、 自然の家シール）、ラミネーター、ピンセ ット、タイル、一穴パンチ、ハサミ、電子 レンジ、ティッシュ		

プログラムの概要・ねらい

自然の家に咲く花や樹木の葉を、きれいなしおりに仕上げる。採集する過程では、草や葉の形や堅さ、色など普段は見過ごしていた植物の姿に気付くことができる。また、しおりにすることで、普段もその姿に触れることができる。

①準備

団体：材料とクラフト室倉庫の鍵をサービスセンター受付にて受け取る。※セット数を確認する。
 家族：材料をサービスセンターで購入し、備品を受け取る。
 自然の中で、しおりに入れたい草花を探し、手帳や本で押し花にする。
 時間がないときには、電子レンジを使って乾燥させることもできる。
 （下記では電子レンジを使用する場合の方法を紹介する。）

②実施の流れ

【時間】

- 0:00 説明
- 0:05 屋外に出て、しおりに入れたい草花を探してくる。
 その際、生きている草花を必要以上に採取しないように指導する。
- 0:20 採ってきた草花を乾燥させる。
 ①タイルの上にティッシュを置き、その上に草花を載せる。（写真①）
 ②ティッシュを折り返して、草花を挟む。（写真②）
 ③もう1枚のタイルを載せ、ティッシュと植物を挟み込む。（写真③）
- 0:25 挟み込んだタイルごと電子レンジに入れ、約1分間加熱し、水分をとる。
 水分が残っている場合は、再度加熱し様子を見る。
 ※取り出す時にはタイルが熱くなっているので、軍手をして、十分に注意をする。
- 0:30 乾燥した草花を、千代紙と一緒にラミネートシートの中に配置する。
 紙を入れなければ透明な感じを強調でき、千代紙を入れれば、紙の模様と植物のコントラストを楽しむことができる。
 ※ラミネートシートの端ぎりぎりに配置すると、シートが閉じないので注意をする。
 ※ラミネーターの故障防止のため、厚すぎるものを入れないようにする。
- 0:45 ラミネーターを温めておき、ラミネートシートの閉じている方を先にしてラミネーターに差し込む。
- 1:00 加工が終了したら、パンチで好きな場所に穴を開け、そこにリボンを通す。（写真④）
- 1:15 片付け・終了
- ※草花を乾燥させずにそのまま貼り付けることもできるが、時間が経つと変色する場合がある。
 ※プログラムで他団体が使用している施設には、入らないように指導する。
 ※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙 注意が必要な動植物参照）

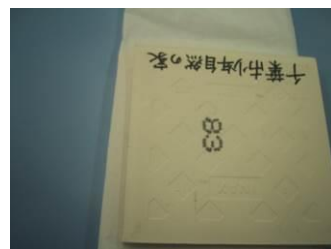
①



②



③



④



③後片付け

団体：ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）
 工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。
 クラフト室倉庫の鍵、余った材料はサービスセンター受付へ返却する。
 家族：机をきれいにし、備品をサービスセンター受付へ返却する。